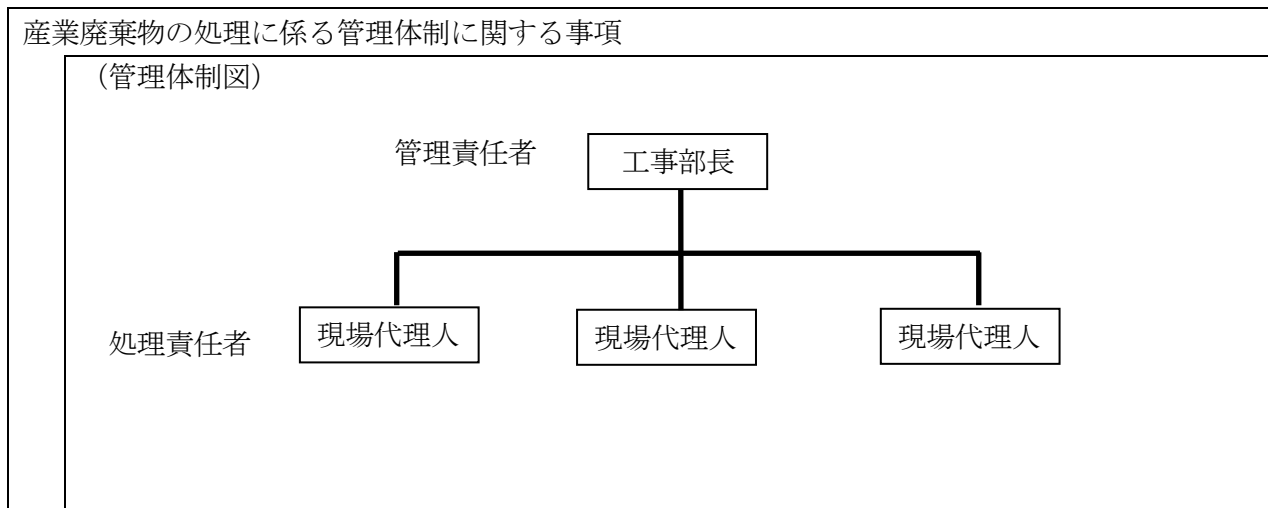


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 4年 6月28日	
福岡市長 殿	
提出者	
住 所 福岡市西区大字羽根戸724-14	
氏 名 林土木工業株式会社	
代表取締役 林英機	
電話番号 092-811-0186	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	林土木工業 株式会社
事業場の所在地	福岡県福岡市西区大字羽根戸724-14
計画期間	令和 4年4月1日～令和 5年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 286,824千円
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 →アスファルト・コンクリート撤去積込→自社運搬→各中間処理業者 工事現場 →アスファルト・コンクリート撤去積込→収集運搬委託業者 →各中間処理業者



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	建設汚泥
	排出量	685.0 t	304.0 t	14.0 t
	(これまでに実施した取組) できる限り分別を行い排出する。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	建設汚泥
	排出量	700.0 t	200.0 t	30.0 t
	(今後実施する予定の取組) 必要最小限の材料手配に努力する。 リサイクル率の高い業者への委託を検討する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場搬出時に産業廃棄物の混載をしない。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各産業廃棄物の分別の徹底。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 発注者の設計に準じて、がれき類の再利用指示を遵守する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 発注者と協議し、極力再利用を図る		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	なし		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	
	(これまでに実施した取組) 該当なし			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	なし		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	建設汚泥
	全処理委託量	685.0 t	304.0 t	14.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量	685.0 t	304.0 t	14.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組) 発注者との協議を前提として、産業廃棄物処理業の資格保有業者である事や、処理能力を確認して、依頼するようにしている。			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	建設汚泥
	全処理委託量	700.0 t	200.0 t	30.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量	700.0 t	200.0 t	30.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・必要最小限の材料手配に努力する。 ・現場内での分別収集の推進 ・コンクリート殻の現場再生利用 				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年 6月28日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市西区大字羽根戸724-14

氏 名 林土木工業(株) 代表取締役 林 英機
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-811-0186

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

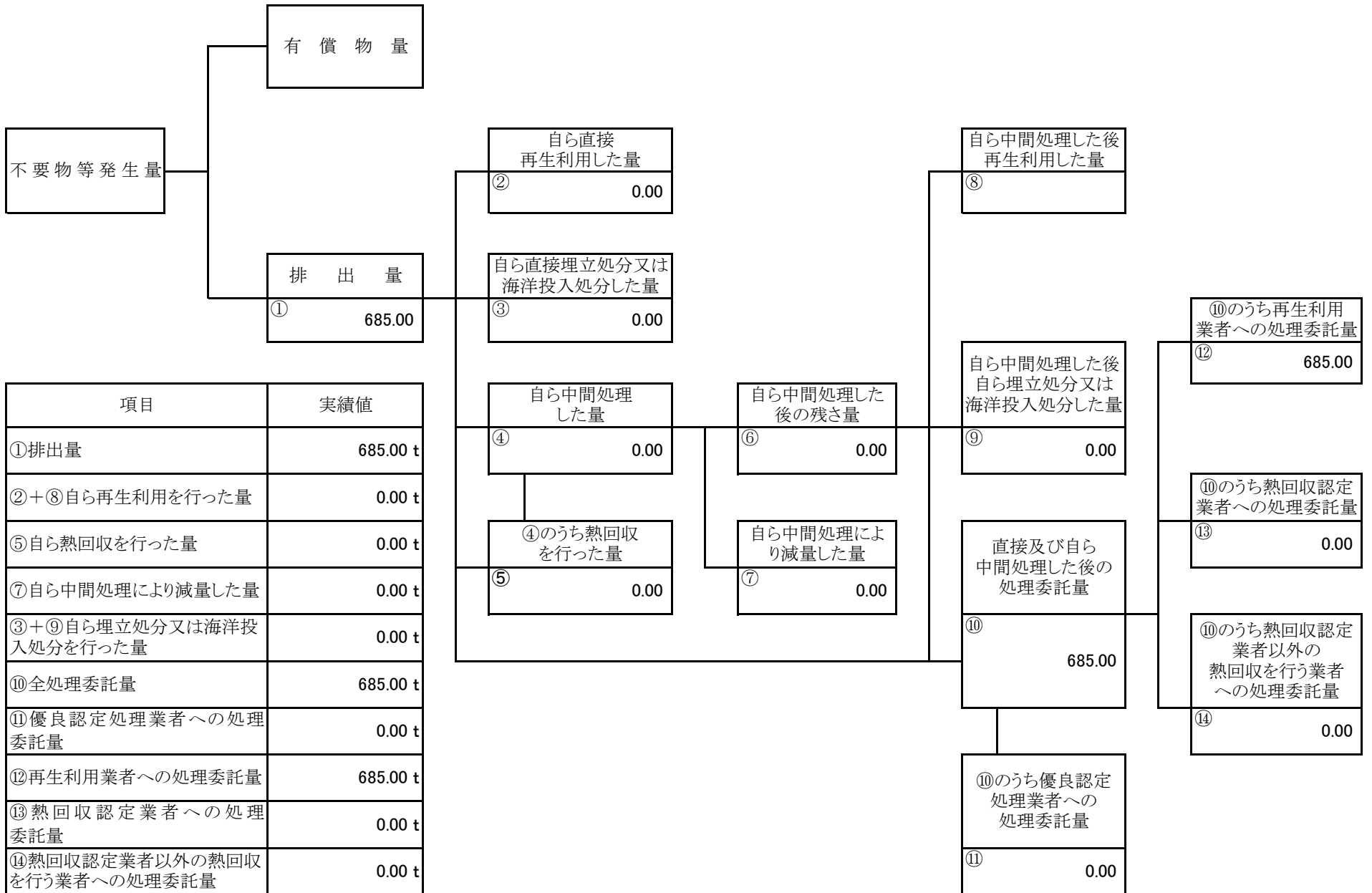
事業場の名称	林土木工業 株式会社
事業場の所在地	福岡市西区大字羽根戸724-14
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量 アスファルト 700t コンクリート 200t 汚泥 30t	t	全処理委託量 アスファルト 700t コンクリート 200t 汚泥 30t	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量 アスファルト 700t コンクリート 200t 汚泥 30t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

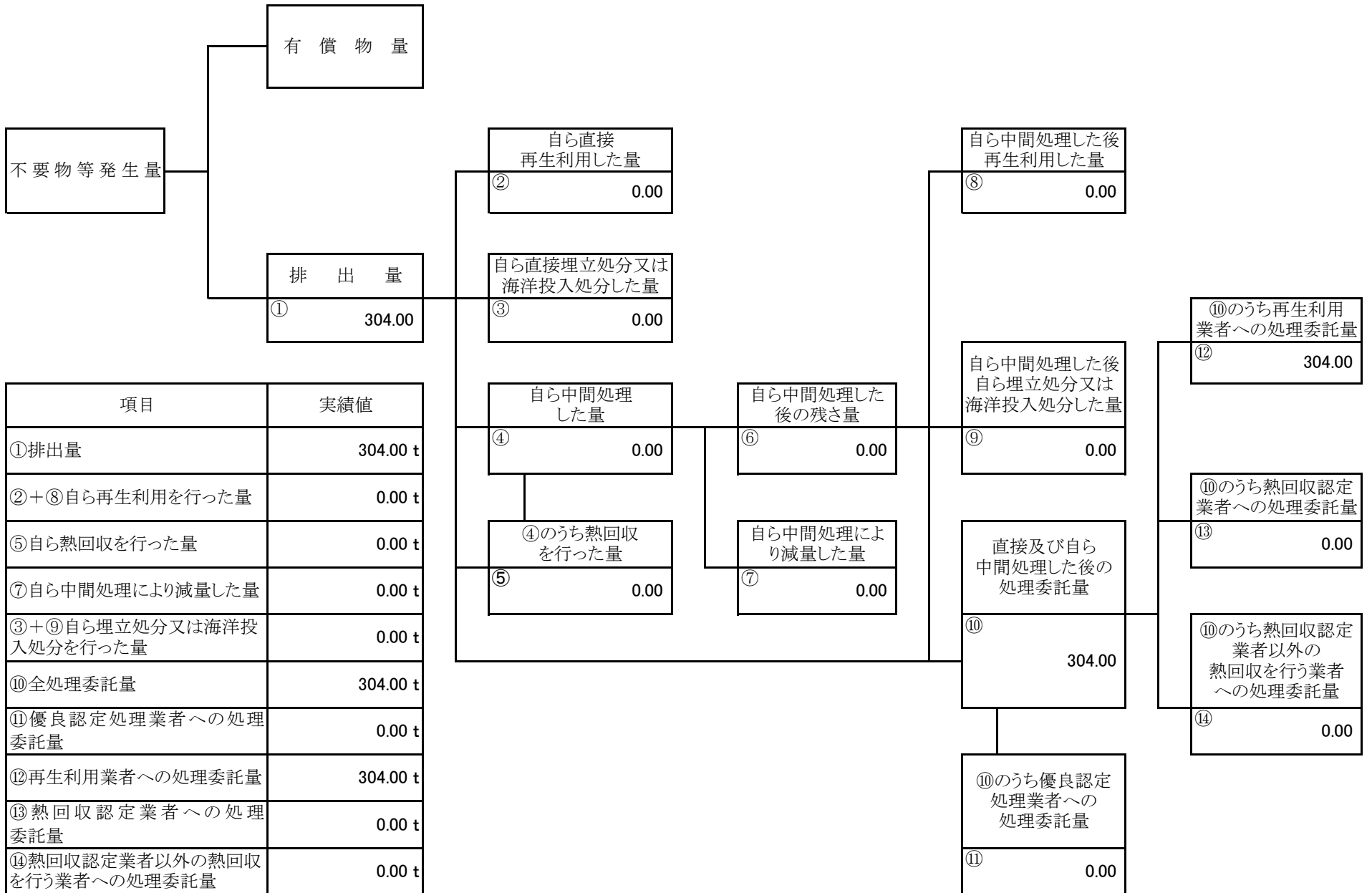
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)



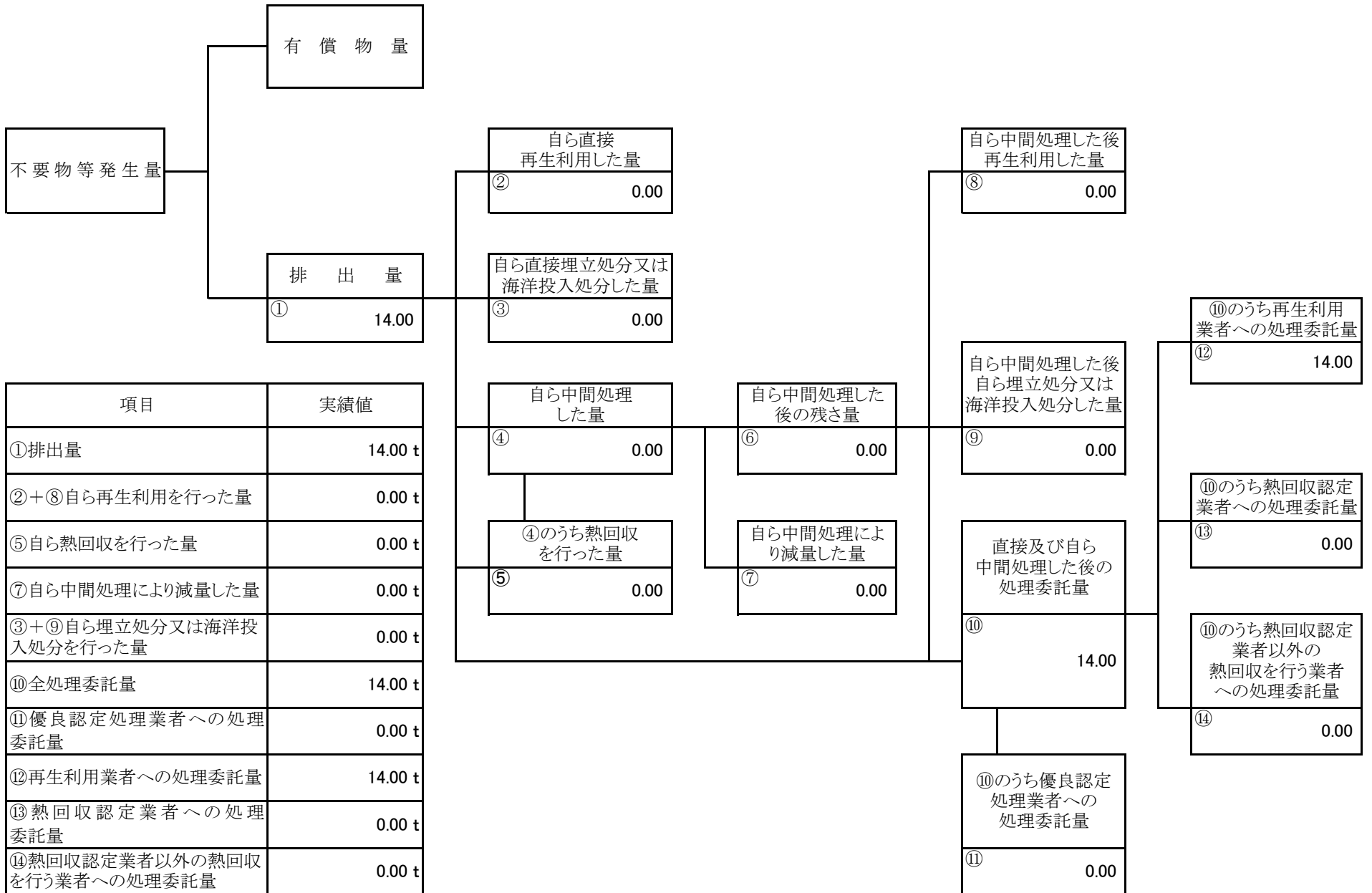
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。